

はじめに



健康でいきいきとした生活を送ることは、私たち長崎市民一人ひとりの願いです。

長崎市では、「すべての市民が健やかで心豊かに生活できる活気あるまち」の実現を目指し、平成 25 年 3 月に「健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸」を大目標とした、計画期間を平成 25 年度から平成 34 年度（2022

年度）までの 10 年間とする「第 2 次健康長崎市民 21」計画を策定し、①栄養・食生活②身体活動・運動③健康チェック④こころの健康⑤禁煙⑥歯・口腔の健康⑦健康づくりをすすめるための環境づくりの 7 分野において様々な取組みを行う中で、重点取組みを設けて推進してまいりました。

今回、策定から 5 年という中間期を迎えたことから、各分野における取組みについて、中間評価を行い、前期 5 年間のふり返りから見えてきた現状を踏まえて、課題の整理を行いました。

その結果、これからの 5 年間は、特定の取組みに焦点をあてるのではなく、子ども世代を含めつながっていく全ての世代について総合的に取り組む必要が見えてきたことから、健康 7 分野の方向性を継続しつつ、次世代を見据えた健康づくりとなるよう、世代別に「市民自らが行う健康づくりの行動目標」とそのための「支援のあり方としての行動目標」を 2 本の柱として、市民の健康づくり運動を推し進めていくこととしました。

長崎市では、これからも、市民、地域、企業、保健医療関係団体と協働しながら、乳幼児から高齢者までの全ての世代の健康づくりの輪が広がっていくよう、各々の活動を積極的に展開してまいりますので、引き続き、市民の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

本計画の見直しにあたり、熱心にご審議、ご検討いただきました「健康長崎市民 21」市民推進会議の委員のみなさま、ご協力を賜りましたすべての方々に、深く御礼申し上げます。

平成 31 年 2 月

長崎市長 田上 富久